

東金市下水道事業経営戦略(改定)について

1. 東金市下水道事業経営戦略と改定の必要性

●計画の趣旨・目的

人口減少による使用料収入の減少、人件費や燃料費などの上昇に伴う維持管理費用の増加、加えて施設老朽化に伴う改築更新費用の増加など、下水道事業の経営環境は厳しさを増しております。

経営戦略は、経営基盤強化の取り組みの一環として、下水道事業を持続的・安定的に経営するために、令和3年度から令和12年度までを計画期間とし、中長期的な視点から、経営の健全化と経営基盤の強化を図ることを目的に策定しています。

●改定の必要性(背景)

- ・人件費や物価、燃料費等、維持管理費用の急激な高騰
- ・老朽化対応(更新)や広域化・共同化などによる建設投資に係る需要の変化
- ・社会情勢の変化等に対応するため、3～5年ごとの見直しを総務省より要請されており、策定後5年目を迎える令和7年度中の改定が必須

●改定の目的

より実態に即した計画へと見直しを図り、安定的な事業経営と財政マネジメントの向上を図る。

2. 東金市下水道事業審議会

●設置目的

下水道事業は、市民生活との結びつきが強く、その運営や取り組みにおいては、利用者や学識経験者の方々のご意見を反映させることが重要であると考えております。そのため、今回の経営戦略の見直しに合わせ、より効率的で効果的な事業経営を図るため、下水道事業審議会を設置します。

●今年度の諮問事項

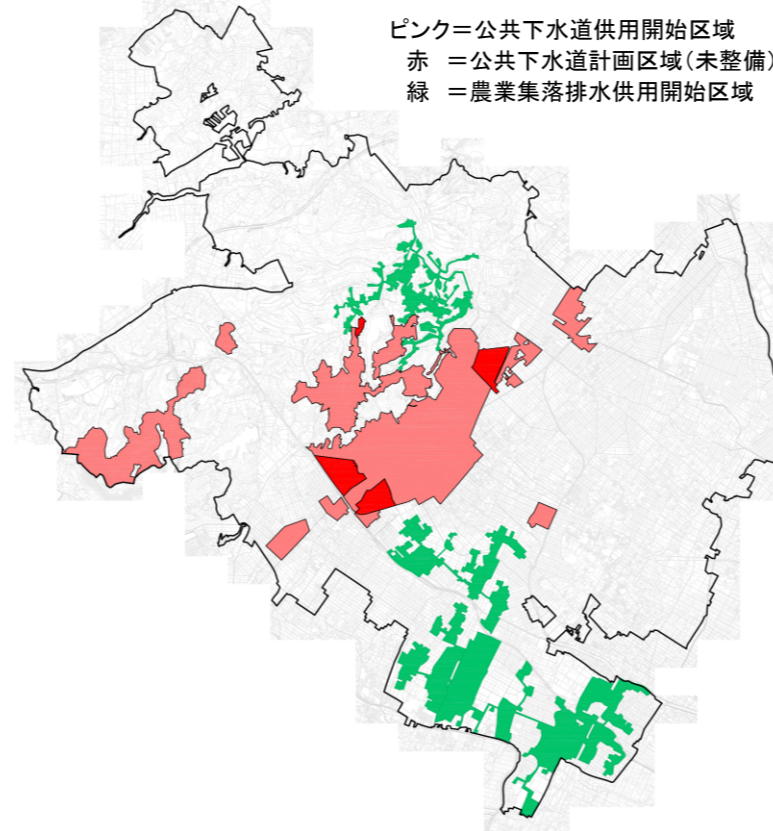
令和7年度においては、東金市下水道事業経営戦略を改定します。審議会の委員の皆様には、改定に伴う、今後の事業展開の内容や収支計画の推移などについて、ご検討いただきたいと思います。

- ・維持管理費の削減策
- ・使用料収入の確保策
- ・使用料改定の是非やその時期

3. 事業運営の現状について

●下水道事業の普及状況

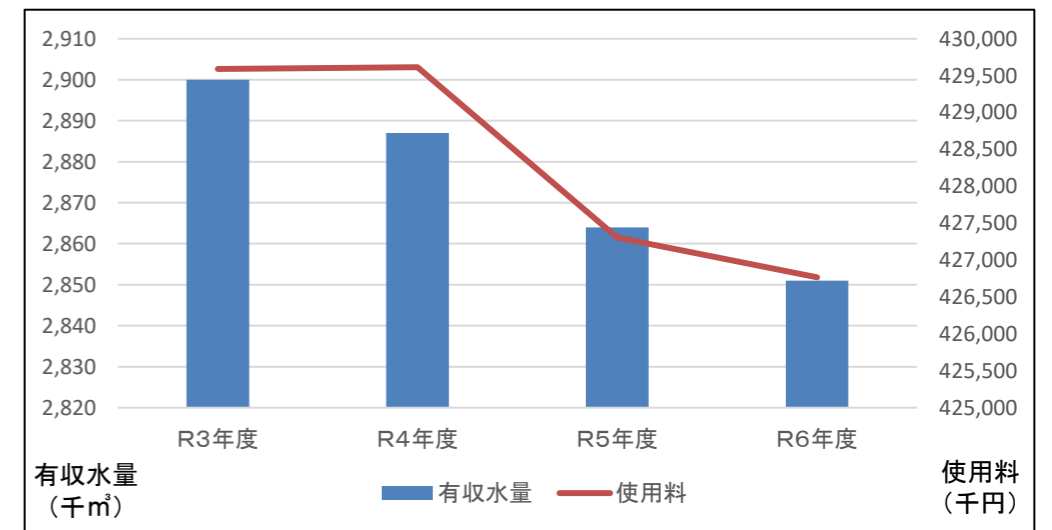
- ・公共下水道 昭和60年度供用開始
- ・農業集落排水 平成10～21年度供用開始



●市内人口及び接続人口

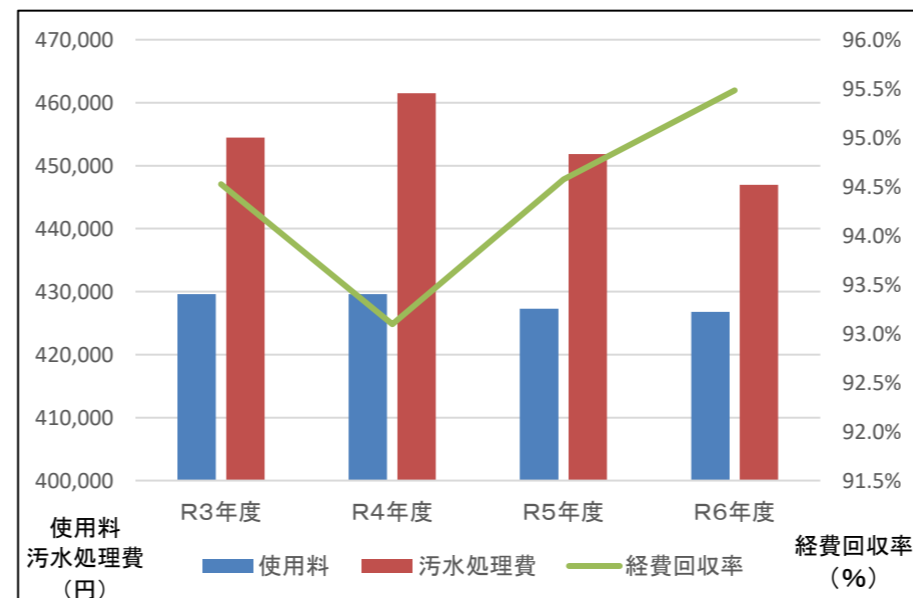
- ・人口見通しは、東金市第4次総合計画における推計データに基づく人口見直しを採用している。
- ・現計画期間(令和3年度～令和12年度)の処理区域内人口は、最終年度までに、公共下水道で1,054人(4.4%)の減少、農業集落排水では520人(12.7%)の減少の見直しとしている。

●有収水量と使用料収入の推移(令和3年度～令和6年度)



●使用料と汚水処理費、経費回収率の推移

- ・電気代や燃料代を中心とした維持管理費の高騰により、経費回収率は100%を下回っている。



●企業債残高と一般会計繰入金の推移

- ・減債の取り組みにより、企業債残高は減少している。

